



お元気ですか!

志村 たかよし です

第656号 2013年8月25日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

長岡戦災資料館で長岡空襲、模擬原子爆弾など学ぶ



(右上) 長岡戦災資料館入口にある「母子像」
(上) E46集束焼夷弾や目印に投下されたM47焼夷爆弾 (資料館のパンフレットより)



「長岡空襲を風化させることなく語り継ぐとともに、平和の尊さを次世代に確実に伝えていくため、

中国への侵略戦争から始まる展示

長岡戦災資料館は、長岡市立でアジア太平洋戦争が終結して68年。私は、新潟市で行われた第55回自治体学校(8/3〜5)に参加した機会を利用して長岡戦災資料館を訪れました。

中央区では、巡回による「平和展」をやっていますが、常設の平和資料館はありません。また、空襲の被害や学童疎開の写真などは展示しますが、日本軍による加害の歴史は展示されていないのです。一方、長岡戦災資料館では、受けた被害だけでなく、子どもたちに事実を正確に知ってもらうために、日本が起こした中国への侵略

市民の皆さんと一緒に作り上げていく施設(パンフレットより)となっています。



自治体学校の様子=新潟市・朱鷺メッセ

アメリカ軍の作成した無差別爆撃の目標計画順位表(180都市)

実際に無差別爆撃を受けた都市

1. 東京	21. 横須賀	41. 室蘭	61. 日立	81. 越前	101. 佐賀	121. 新橋浜	141. 池田	161. 福知山
2. 大阪	22. 鹿児島	42. 高知	62. 延岡	82. 大宮	102. 東舞鶴	122. 釜石	142. 玉野	162. 八幡浜
3. 名古屋	23. 金沢	43. 姫路	63. 大分	83. 浦和	103. 鳥取	123. 桑名	143. 松坂	163. 敦賀
4. 京都	24. 堺	44. 四日市	64. 長野	84. 高岡	104. 半田	124. 津	144. 上野	164. 唐津
5. 横浜	25. 尼崎	45. 甲府	65. 八戸	85. 高防府	105. 熊谷	125. 岡谷	145. 徳島	165. 高松
6. 神戸	26. 小倉	46. 宇都宮	66. 松本	86. 都賀	106. 米沢	126. 伊勢崎	146. 川内	166. 船橋
7. 広島	27. 大津	47. 青森	67. 高崎	87. 市川	107. 尾道	127. 津山	147. 能代	167. 鳥取
8. 福岡	28. 岐阜	48. 福井	68. 一宮	88. 郡山	108. 足利	128. 芦屋	148. 立川	168. 高田
9. 川崎	29. 浜松	49. 川口	69. 山形	89. 福山	109. 福島	129. 三原	149. 西条	169. 平
10. 新潟	30. 小樽	50. 秋田	70. 津	90. 大田	110. 若松	130. 徳山	150. 八代	170. 七尾
11. 八幡	31. 岡山	51. 千葉	71. 清水	91. 今治	111. 明石	131. 川越	151. 伊丹	171. 舞鶴
12. 長崎	32. 新潟	52. 盛岡	72. 大津	92. 松江	112. 米子	132. 山口	152. 下松	172. 柏崎
13. 仙台	33. 豊橋	53. 久留米	73. 長岡	93. 沼津	113. 直方	133. 藤沢	153. 三島	173. 河本
14. 札幌	34. 門司	54. 若松	74. 宮崎	94. 宇治山田	114. 飯塚	134. 香取	154. 宮古	174. 中津
15. 静岡	35. 布施	55. 宇都宮	75. 水戸	95. 宇和島	115. 岸和田	135. 三島	155. 佐伯	175. 海南
16. 熊本	36. 富山	56. 旭川	76. 吹田	96. 小田原	116. 小野田	136. 石巻	156. 新宮	176. 飯山
17. 佐賀	37. 徳島	57. 市橋	77. 別府	97. 小松	117. 瀬戸	137. 日田	157. 萩	177. 飯田
18. 函館	38. 松山	58. 桐生	78. 調布	98. 弘前	118. 豊中	138. 土浦	158. 浜田	178. 丸亀
19. 下関	39. 西宮	59. 戸畑	79. 八王子	99. 岩国	119. 鎌早	139. 彦根	159. 倉敷	179. 多摩
20. 和歌山	40. 高松	60. 岡崎	80. 奈良	100. 船橋	120. 平塚	140. 前橋	160. 酒田	180. 熱海

(奥住喜重他訳「原爆投下報告書」より)

長岡戦災資料館パンフレットより

戦争から展示が始まっています。
人口順で都市を無差別爆撃

アメリカ軍による日本への無差別爆撃は、日本の都市を人口の多い順に180位まで番号をつけ、住宅地を目標にして焼夷弾を使い焼き払おうという作戦でした。

その際、地理的に爆撃が難しかった都市や原子爆弾を投下する予定のあった広島、小倉、京都、新潟、長崎などの都市は爆撃しませんでした。

全国では64都市がほぼ人口の順に爆撃を受けました。戦争を早く終結させていけば被害はもっと少なかったはずですが、終戦間近の8月1日の夜、

B29による焼夷弾爆撃が長岡市をおそいましたが、新潟市が原爆投下予定地だったため、新潟県では、唯一長岡市が無

差別爆撃を受けました。

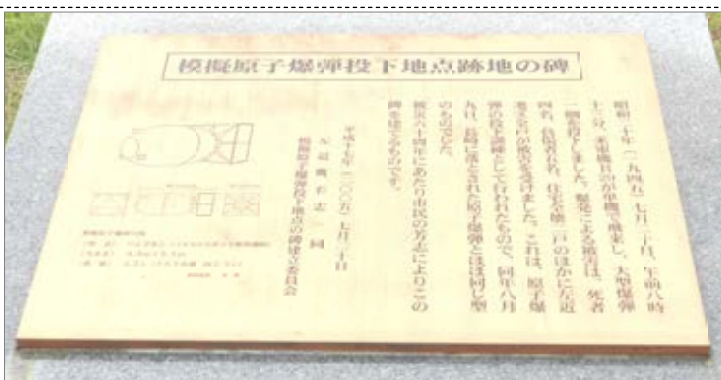
さらに、新潟市が原爆投下予定地だったこともあり、45年7月20日、信濃川に近い左近町に、長崎と同じパンピキンの訓練用模擬原子爆弾が投下されています。

その時、4人が死亡、5人が重軽傷を負いました。いま、その場所には「模擬原子爆弾投下地点跡地の碑」(下写真)があります。

次世代に戦争実態の伝承を

私は母から、焼夷弾が降り注ぐなかを布団をかぶりながら多摩川をめざして逃げまどつた話を幾度も聞かされて育ちましたが、次世代を担う青年たちに、2千万人を超えるアジア諸国民と310万人を超える日本国民の生命を奪った戦争の実態を正しく伝えていく必要性を強く感じました。

「意見」「要望」など、お気軽に「連絡ください」(090-9000-9000)



模擬原子爆弾投下地点跡地の碑の前で説明を受けました。